【様式 2】

平成 13 年度 授業実践結果

学校名：岐阜県立岐阜希望が丘養護学校

授業者等	授業日	平成 14 年 1 月 23 日	学 年	小学部 4 年
	授業者	野田真希	教 科	自立活動
	校 種	小・中・高・特	単 元	絵本を楽しもう
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・自分でモニターに触れ、パソコン絵本のページをめくることができる。 ・姿勢を保持しつつ、パソコン絵本を楽しむことができる。 			
授業の流れ	<p>対象児 小学部 4 年重複障害児学級 女</p> <p>指導の手順</p> <p>(1) 身体の筋緊張を緩める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仰臥位で足首、膝、股関節、腰、背中、肩を緩める。 ・坐位で腕上げを行い、肩、腕、背中を緩める。 ・坐位で股関節、腰を緩め、骨盤をたてる。 ・膝立ち位で腰の動きを促す。 <p>(2) 坐位姿勢を保持し、パソコン絵本を楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あぐら坐位の姿勢を自力で保持し、パソコンに向かう。 ・本児に何の絵本がいいかたずねると「ノントン」「おーい」など自分 			
	<p>の自分でこたえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン絵本を始めると、その中のせりふ「おーい」「でんわ」「か <p>ぼ ちゃ」などを真似ながら楽しむ。また、1 ページのお話が終わる</p> <p>の を待ってモニターに手を伸ばして触れ、次のページに進む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのお話が終わると、「おしまい」といってほかのお話に変えて <p>く れるよう、指導者に要求を伝えることがある。</p> <p>留意点：あぐら坐位を保持しようとすることはできるが、次第に背中が丸くなり、姿勢が崩れてくる。できるだけ、あごを引いて胸を張り、背筋を伸ばした姿勢をとれるよう時々介助を行う。</p>			
考察	<p>本児は、本年度になって初めてパソコン絵本を経験し、繰り返し触れる中で、楽しめる絵本の種類が増え、意欲的にパソコン絵本に向かうことができるようになった。本児のパソコン絵本への関心が高まるとともに、普段ならすぐに崩れてしまうあぐら坐位や騎馬坐位の姿勢でも自分で姿勢を保持しようという意欲も育ってきた。今後は、パソコンを通して本児の関心の幅を広げ、弁別、選択、コミュニケーションの基礎となる力を育てていきたい。</p>			

IT 活用が分かるように記述願います。